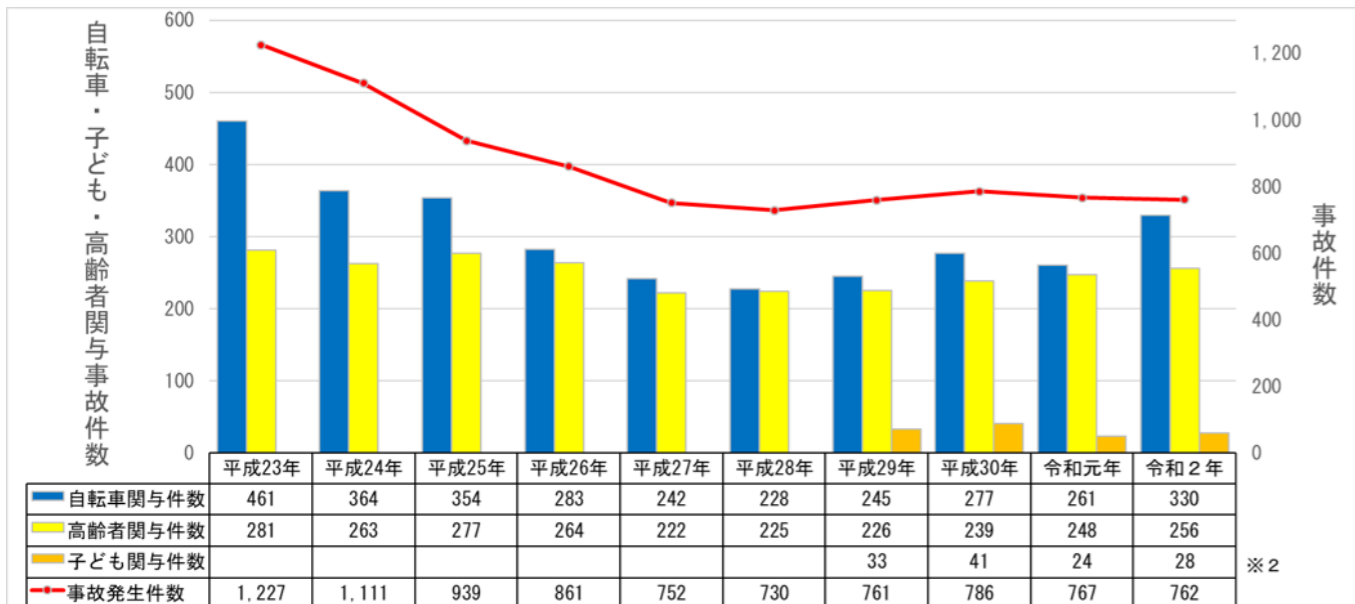


交通安全対策について

1. 交通事故の概況

(1) 事故発生および主な関与事故件数の推移（平成23年～令和2年）



※1 警視庁交通部資料「区市町村別各種交通事故発生状況（平成23年中～令和2年中）」による。
※2 子どもの関与件数については、平成29年から集計を開始

(2) 令和2年中の交通事故発生状況

① 時間帯別

時間帯	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～0	計
発生件数	22	12	15	48	88	115	98	87	117	84	46	30	762
前年比	-3	-2	-6	-8	-36	+10	+7	+1	+39	±0	±0	-7	-5
死傷者数	25	12	15	52	96	123	107	100	129	88	53	34	834
前年比	-6	-4	-9	-10	-38	-1	+7	+8	+43	-8	±0	-12	-30

16時から18時までの薄暮時間帯における交通事故が大きく増加

② 状態別

状態	四輪	自動二輪	原付	自転車	歩行者	その他	計
発生件数	703	134	61	376	145	105	1,524
前年比	-146	+3	+1	+90	-27	+69	-10
死傷者数	227	119	43	302	143	0	834
前年比	-81	-1	+1	+83	-32	±0	-30

四輪車が当事者となる交通事故が減少する一方、自転車が当事者となる交通事故が大きく増加

③ 年齢層別

年齢層	幼児	小学生	中学生	高校生	～19	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64	高齢者	その他	計
発生件数	4	19	6	5	21	170	201	302	296	111	284	105	1,524
前年比	-1	+2	+3	-8	+1	-9	-49	-31	-10	+10	+11	+71	-10
死傷者数	15	18	3	4	12	101	127	183	169	53	149	0	834
前年比	+2	-2	-2	-5	-2	+1	-36	-10	+9	+3	+12	±0	-30

65歳以上の高齢者が当事者となる交通事故が増加

2. 第11次品川区交通安全計画について

(1) 計画期間

令和3年度から令和7年度までの5か年

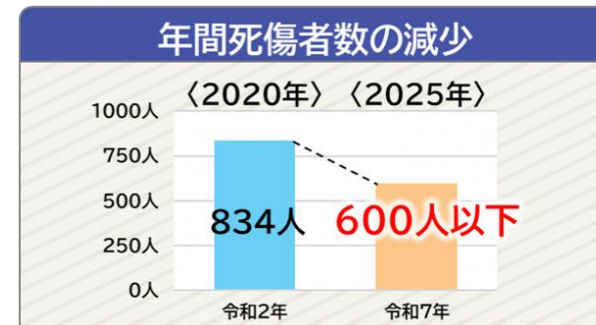
(2) 計画目標（案）

交通事故死傷者数 **600人以下**

（令和2年対比 **28.1%減**）

(3) 計画の策定状況・今後のスケジュール

～8月31日	計画（素案）に関するパブリックコメント実施
9月	意見の反映、計画（案）の作成、関係機関への照会
10月中旬	品川区交通安全対策会議、計画（案）審議
12月上旬	計画公表、区ホームページおよび広報しながらに掲載



交通安全施策の重点

子どもの交通安全の確保

高齢者の交通安全の確保

自転車の安全利用の推進

二輪車の安全対策の推進

飲酒運転の根絶

「新しい生活様式」への対応

具体的取組



通学路安全・安心プログラムに基づく安全安心総点検



交通事故発生地点における交差点改良（後地交差点）



幼児横断・歩行訓練



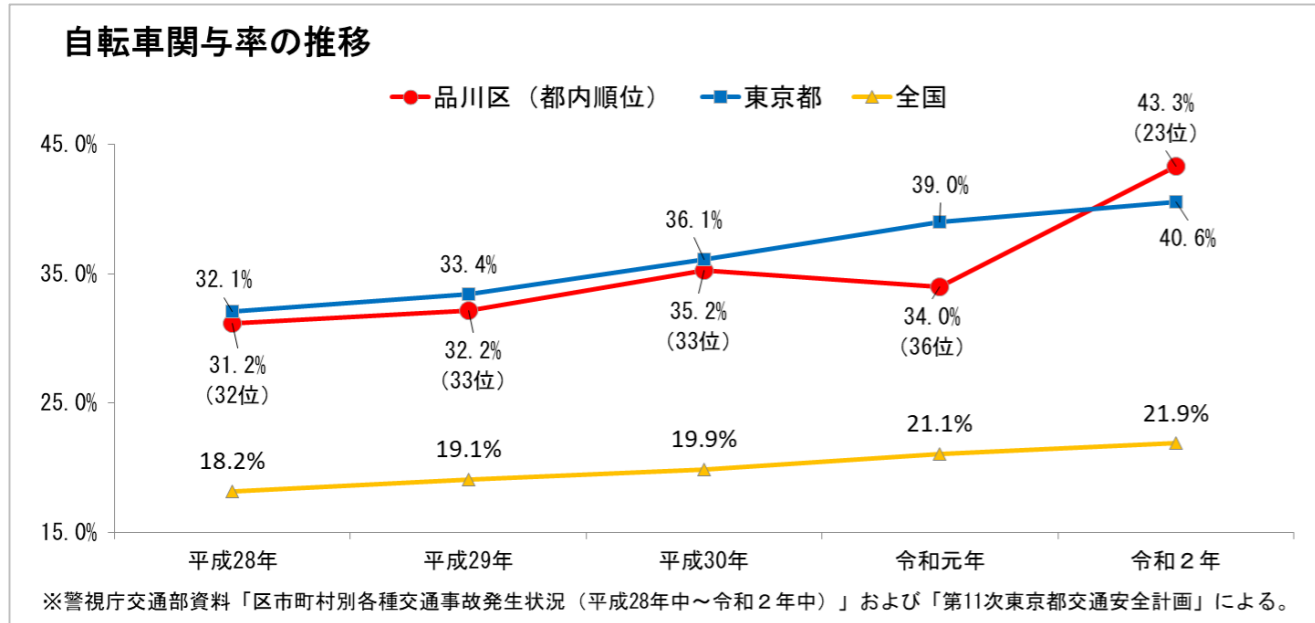
高齢者交通安全講習会



二輪車に対するワンポイントアドバイス

3. 自転車の安全利用について

(1) 区内における自転車事故の発生状況



(2) スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室 スタントマンによる交通事故再現により、交通事故の衝撃や恐ろしさを視覚的に体験させることで、交通安全に必要な知識を習得させることを目的とした交通安全教育を実施



内輪差による巻き込み事故再現
(浅間台小学校)



傘さし運転による事故再現
(都立産業技術高等専門学校)

(3) 自転車交通安全教室 自転車シミュレータ等を用いた参加・体験・実践型の交通安全教室を実施



シミュレータを用いた模擬運転体験
(戸越小学校)

(4) 自転車安全利用キャンペーン 警察署と連携し、自転車の交通事故が多い地区を中心に自転車利用者への街頭指導および広報啓発を実施

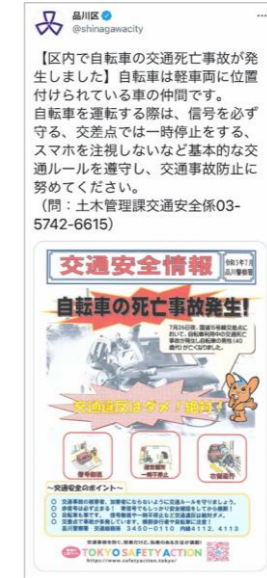


区・警察署合同による自転車安全利用キャンペーン
(大崎広小路交差点)

(5) 広報媒体等を活用した交通安全に関する情報発信



広報しながわ (5月1日号)



区公式ツイッター (7月28日)



区職員のケーブルテレビ出演
(令和3年5月1日～5月7日放送)



自転車通行方法に関する看板の設置

(6) 自転車走行空間の整備



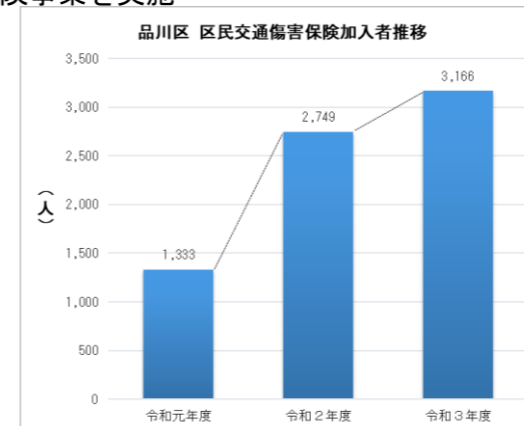
自転車道整備
(大井ふ頭中央海浜公園周辺)



自転車ナビマーク・ナビライン整備
(JR大崎駅周辺)

(7) 区民交通傷害保険の実施

交通事故の負担軽減を図るため、交通事故によるケガや、自転車事故による損害賠償責任を補償する保険事業を実施



加入者は増加傾向にあり、令和3年度は3,166人と、対前年比約15%の増加



令和3年度加入募集チラシ